

IMP389

スズキ・ジムニー専用リアラダー

取扱説明書



この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用前に本書(取扱説明書)をよく読み、製品を安全にお使いください。
 ※この取扱説明書については、予告なしに変更することがあります。
 ※製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
 ※掲載されている写真やイラストは全てイメージです。
 ※記載されている商品名及び社名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

- 本製品はスズキ・ジムニー(JB64/74)、ジムニーノード(JC74W)専用部品です。
- 本製品は車種専用ですが、製品や車体の個体差により、多少がたつきが発生する場合があります。
- 本製品は純正背面タイヤ装着時のみ取り付け可能です。

安全にご使用いただくために

- 本製品の取り付けは正しく行い、走行前に本製品が確実に取り付けられていることを確認してください。取り付けが不完全なままご使用になりますと脱落等による事故の原因になります。
- 下記の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任、保証は負いかねます。

使用上の注意

- 耐荷重は100kg以下です。積載時に十分安全を確認してお使いください。
- 取り付け部に緩みがあると、異音、干渉、事故、怪我などの原因になります。定期的に取り付け部の点検を行なってください。
- 本製品はルーフキャリアなどへの荷物の乗せ降ろし用途以外には使用しないでください。

1 安全上の注意

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- 本製品は上記車種専用部品です。その他車種には取り付けしないでください。
- 指定の取り付け場所以外には取り付けしないでください。
- バックドアが開いた状態で本製品は使用しないでください。車両側に変形が起これ、使用者の落下・転倒などの大きな事故につながる危険性があります。
- 本製品の昇降時、手前側に大きな力(引っ張る力)はかけないでください。車両の変形に繋がり使用者の事故につながる危険性があります。
- 組み立ての際に本製品を壁などに立て掛けないでください。転倒して怪我につながる恐れがあります。

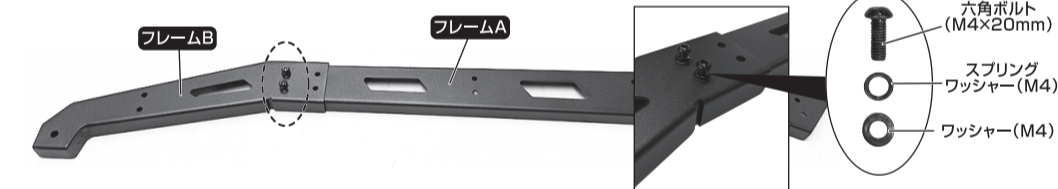
注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害の発生が想定される」内容です。

- 本製品取り付けの際は必ず各部品が固定されているのを確認してください。固定が不十分だと、破損の危険性があります。
- 本製品を使用するときは毎回点検を行い、構造部材の変形や破損、異常がないか確認してからご使用ください。
- 異常を感じたときは使用しないでください。破損や事故、怪我の原因となります。
- 本製品を取り付け、使用の際、車両側に使用前との変化が生じた場合の故障、損害(破損・キズ・変色・跡等)は当社では責任、補償を負いかねます。
- 取り付け作業時の車両へのキズ防止の為、必要に応じてマスキングをしてから作業を行ってください。
- 本製品に無理な力や衝撃を与えないでください。本製品や車両側に破損する場合があります。
- 金属部の錆の原因となりますので、濡れたり水気を帯びた場合はそのまま放置せずに拭き取って乾燥させてください。
- 本製品はオフロード(不整地)、ラリー車専用ではありませんので、連続した強い衝撃・振動がかからないようにしてください。
- 本製品を取り付け後、洗車機での洗車はバックドアの変形・車内室の浸水の可能性があります。
- 組み立ては必ず二人以上で行なってください。

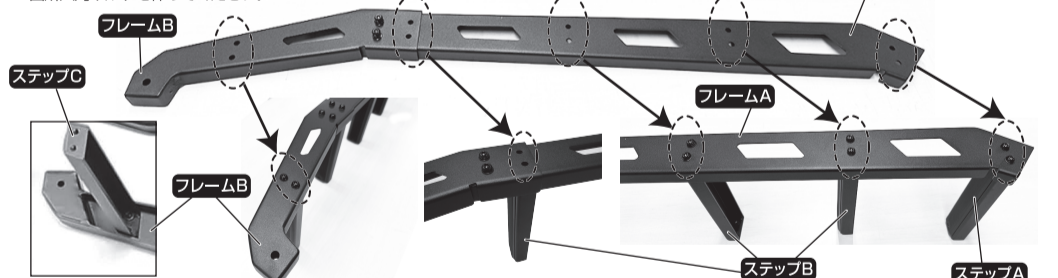
本製品の組み立て

※本製品の組み立ては平らなところで行なってください。
 ※ボルト、ナットをしっかりと締めてください。また定期的に増し締めをしてください。

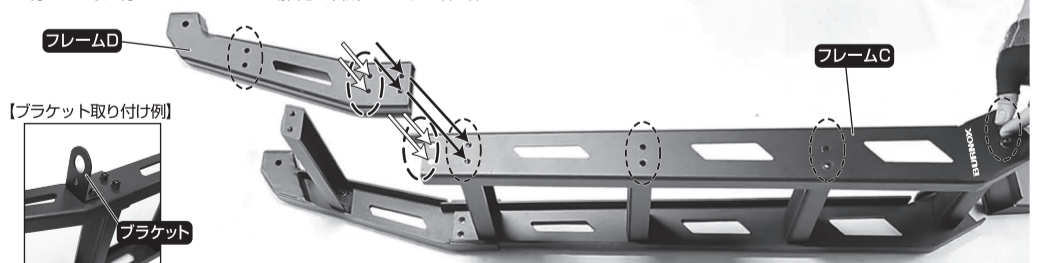
- ①スプリングワッシャー(M4)とワッシャー(M4)を通した六角ボルト(M4×20mm)でフレームA、フレームBを組み立てます。
 ※六角ボルトの固定には付属の六角レンチ(4M)を使用してください。
- ②箇所六角ボルトを締めてください。



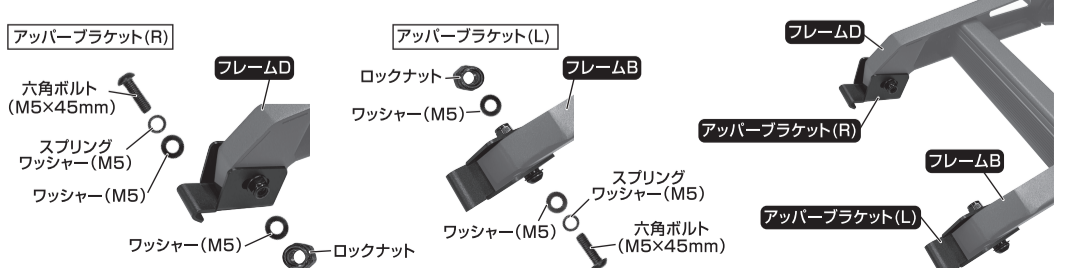
- ②上記で組み立てたフレームA、フレームBにステップA、ステップB、ステップCを下記のようにスプリングワッシャー(M4)とワッシャー(M4)を通した六角ボルト(M4×20mm)で取り付けてください。
 ※ステップA、ステップB、ステップCの取り付け箇所に注意してください。
 ※六角ボルトの固定には付属の六角レンチ(4M)を使用してください。
- ③箇所六角ボルトを締めてください。



- ③上記で組み立てたステップA、ステップB、ステップCにフレームC、フレームDを下記のようにスプリングワッシャー(M4)とワッシャー(M4)を通した六角ボルト(M4×20mm)で取り付けてください。
 ※ブラケットを取り付ける場合はお好みの場所にフレームとステップをスプリングワッシャー(M4)とワッシャー(M4)を通した六角ボルト(M4×20mm)で共同締めしてください。
 ※六角ボルトの固定には付属の六角レンチ(4M)を使用してください。
- ④箇所六角ボルトを締めてください。
- ※フレームC、フレームDを各ステップに取り付ける際、取り付けにくい場合は②で取り付けた各ステップのボルトを少し緩め、フレームC、フレームDを取り付けると取り付けやすいです。その場合必ず各所のボルトを増し締めしてください。



- ④フレームB、フレームDの端にアッパーブラケット(L)、アッパーブラケット(R)をスプリングワッシャー(M5)とワッシャー(M5)を通した六角ボルト(M5×45mm)とロックナットで仮締めします。
 ※六角ボルトの固定には付属の六角レンチ(M5)を使用してください。
- ※フレームB、フレームDの内側にロックナットが来るように六角ボルトを取り付けてください。

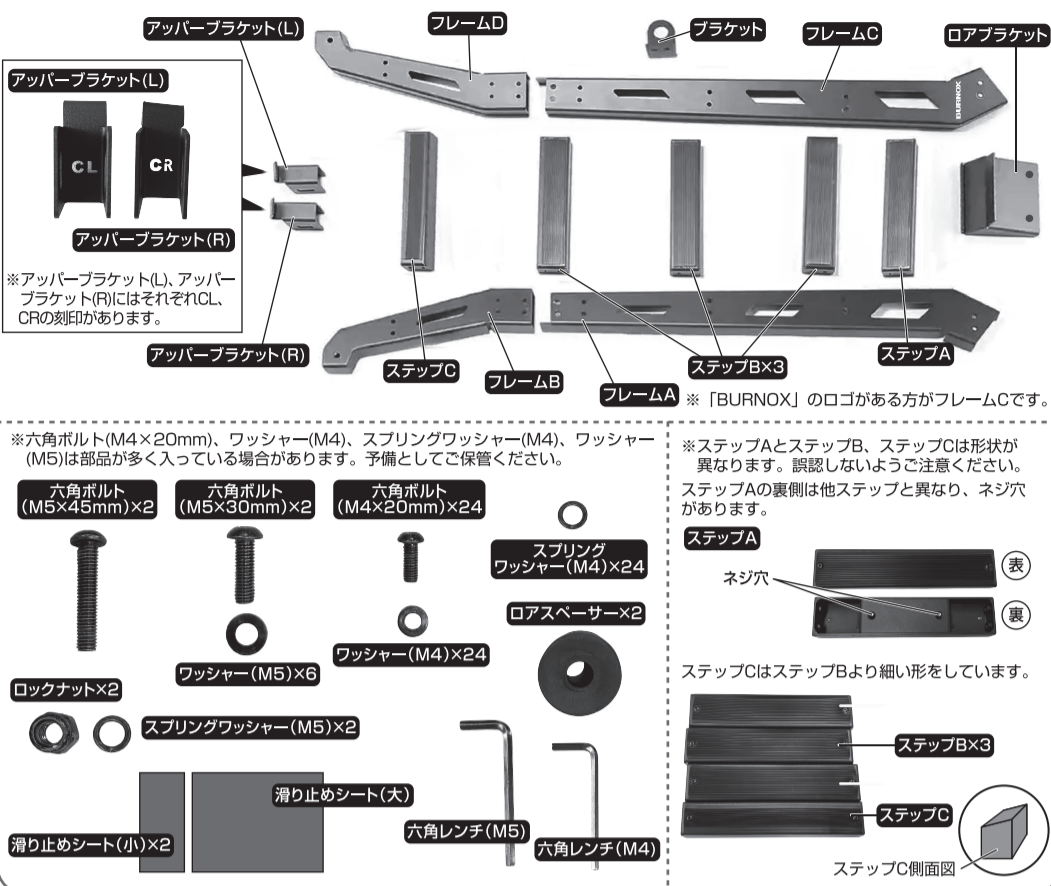


開封と内容物の確認

- 開封後、下記の「セット内容」を参考に内容物の確認をお願いします。

セット内容

本製品の構成と名称

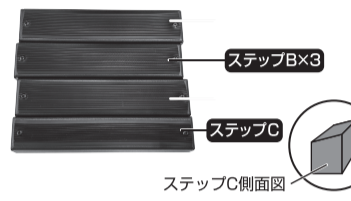


※六角ボルト(M4×20mm)、ワッシャー(M4)、スプリングワッシャー(M4)、ワッシャー(M5)は部品が多く入っている場合があります。予備としてご保管ください。

※ステップAとステップB、ステップCは形状が異なります。誤認しないようご注意ください。ステップAの裏側は他ステップと異なり、ネジ穴があります。



ステップCはステップBより細い形をしています。



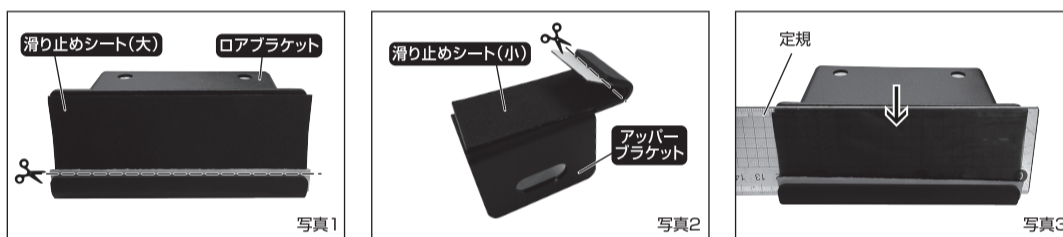
2 取り付け方法

道具の準備

- 取り付けに必要な下記の道具をご準備ください。
- 13mmレンチ ○カッター等 ○定規

取り付け前準備

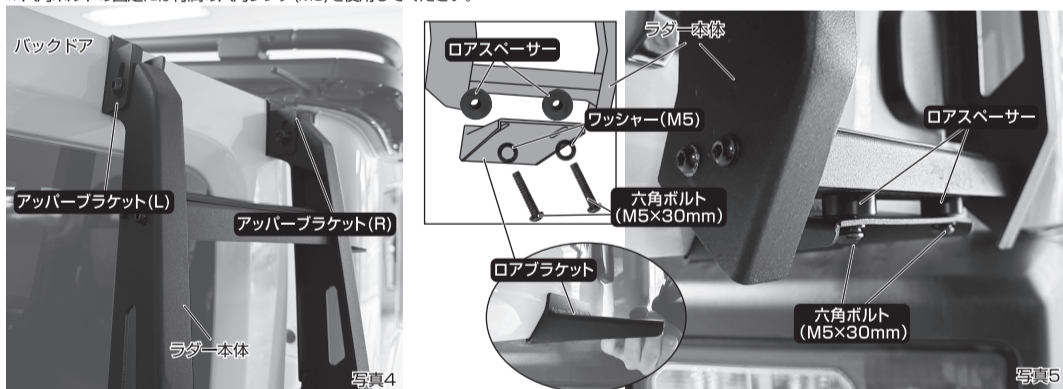
- 【滑り止めシート(大)、滑り止めシート(小)の貼り付け】
- 滑り止めシート(大)をロアブラケットに貼り付けます。余った部分はカッター等で切り取ってください。(写真1)
- 滑り止めシート(小)をアッパーブラケットに貼り付けます。余った部分はカッター等で切り取ってください。(写真2)
- ※貼る際に定規等で押し付けながらスライドさせるように貼るとしっかり圧着されます。(写真3)



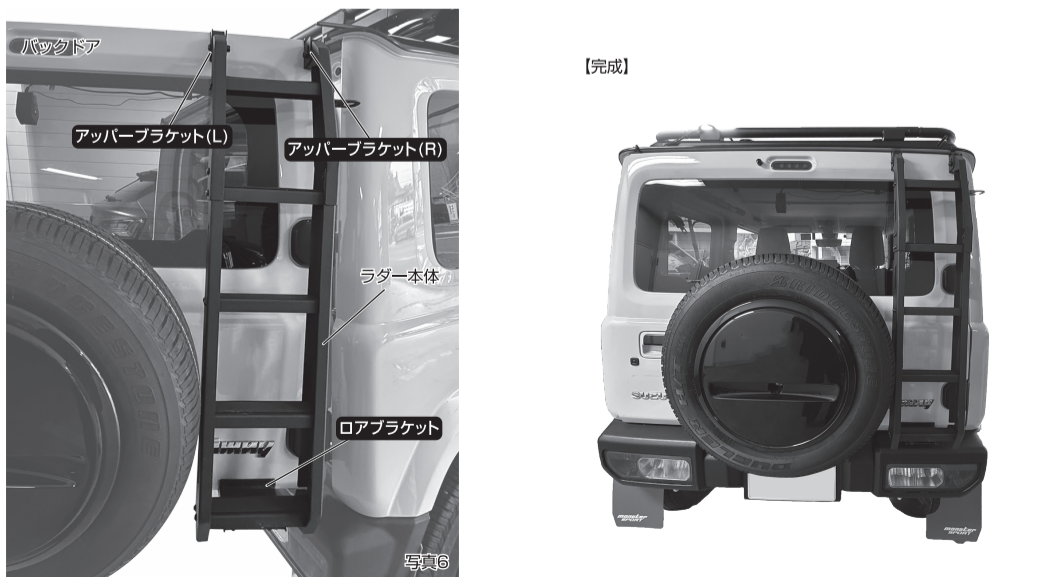
車体への取り付け

- ※バックドアを開けた状態で作業を行なってください。
- ※取り付け作業は、平らな場所で必ずエンジンを切って、パーキングブレーキをかけた状態で行なってください。
- ※ボルト、ナットは定期的に増し締めをしてください。

- ①車両のバックドア(ドアヒンジ側)の上部に組み立てたラダー本体のアッパーブラケット(L)、アッパーブラケット(R)を引っ掛けます。(写真4)
- ②ロアブラケットをバックドア下部に当て、ロアスパーサーとワッシャー(M5)を通した六角ボルト(M5×30mm)で仮締めします。(写真5)
- ③製品本体を車体が接触しない位置に合わせてください。
- ※車両後方から見てラダー本体が地面に対して垂直になるように取り付け位置を確認してください。
- ※六角ボルトの固定には付属の六角レンチ(M5)を使用してください。



- ④上記で取り付けした製品本体を上押しした状態でアッパーブラケット(L)、アッパーブラケット(R)を本締めし、ロアスパーサーが軽く潰れるくらいまで、ロアブラケットの六角ボルトを本締めし、ラダー本体と車体を固定してください。
- ※アッパーブラケット(L)、アッパーブラケット(R)の六角ボルト(M5×30mm)は13mmレンチでロックナットを固定しながら増し締めしてください。(写真6)
- ※六角ボルトの固定には付属の六角レンチ(M5)を使用してください。
- ⑤バックドアをゆっくりと閉め、リアバンパー等に干渉しないか必ず確認してください。



動画でトリセツ

スマホカメラでQRをスキャン

動画でも取り付け方法をご紹介します。QRコードからご確認ください。

本製品に関するお問い合わせは

受付時間/AM10:00~PM5:30(曜日~日曜日(祝日休業))
 〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6-1

☎ 0570(039)710